



生活支援相談員 今泉清司さん(都路町)

「生活支援相談員をするきっかけは？」  
退職当時はほんとに疲れて、もう何もしたくはなかったですね。そんな時、社会福祉協議会の事務局長から電話がかかってきたんです。「社会福祉協議会で今度、生活支援相談員を配置するから、やってくれないか」と。

都路の方には、だいぶお世話になったし、恩返しもしたいと思っていたので引き受けました。7月12日に委嘱を受けて、最初は私と、もう一人の2人でスタートしました。その後、一人増えて現在は3人体制で活動しています。生活支援相談員の仕事は、避難者の安否や安

## 避難している皆さんの自立を支援したい

震災当時、都路行政局長として都路地区の対応に当たっていた今泉清司さん。退職後、市社会福祉協議会の生活支援相談員として市内4カ所の仮設住宅を回り、被災者の相談や生活支援などを行っています。復興を支えている今泉さんにお話を伺いました。

——生活支援相談員をする

都路の方には、だいぶお世話になったし、恩返しもしたい

全を確認して回ることです。私は社協とか市役所との連絡が主なので、実際に歩いているのは別の2の方が多くなっています。

——仮設住宅の様子は？

仮設住宅では、定期的に「ふれあい健康サロン」を開催しています。健康体操やレクリエーション、折り紙などに20人から30人くらいの方が参加しています。健康体操では市役所から保健師さんに来てもらっています。折り紙教室では、仮設の入居者の渡辺世子さんに先生になってもらっています。大変好評で、今は富岡の仮設にも出張しています。イベントにはできるだけ多くの方に参加していただきたいと思っています。いるんですが、参加できる人が同じになっていきます。何とかしたいと思うけれど、難しい問題ですね。また、毎月2回手芸教室を開催し、つるし雛などをひと針ひと針、心を込めて作っています。3月1日からは、郡山市で「つるし雛きらめき展」を開催します。

——避難している皆さんの現状は？

市内には仮設住宅が4カ

所あるんですが、最初は同じ都路だから、みんな一緒という雰囲気だったんです。しかし、分かれたことによつて、心に溝ができてしまった気がします。それは、ちょっと寂しいですね。

また、原発事故で避難して最初のうちは皆さん、1週間や2週間くらいで帰れるだろうという感覚だったと思います。それがいつにならぬかわからない。どうしたらいいのかわからず、暗い気持ちになっていましたね。皆さんは、仮設住宅の中を見たことがないと思いますけど、とにかく狭いんです。自宅にいた時とは全然違うんです。狭さに嫌になってしまった人もいます。でも、ある程度の期間が過ぎてから段々に気持ちを切り替えるようになってきたみたいなんです。ここに居なくちゃならない。覚悟を決めてきたんです。まったく笑いがなくなつたけれども、1年が過ぎたころから徐々に笑いが出てくるようにもなりました。皆さん、頑張っているんです。

その一方、少しずつ心の悩みを持つ人が増えてきています。アルコールに依存す



仮設住宅で暮らす宗像ナミさんと話をしている今泉さん

る人も見受けられます。保健師さんに相談したり、月1回のカウンセラーに悩みを聞いてもらったりしているのが現状です。

——生活支援相談員としての今後は？

今、避難している人の大半が、「除染が終わらないから帰らない」と言っています。この前、新聞発表になったとおり、9月ごろまでには除染が終わる計画が進んでいます。そうしたら学校関係も平成26年4月には再開できるだろうし、みんな戻るようになると思います。これからは、自立に向けた取り組みをしていかなければならないと思っています。

## 平成25年度当初予算の主な復旧・復興事業

番号	事務・事業名など	事業費(千円)
1	除染対策費	12,100,000
2	農業系汚染廃棄物処理事業	758,000
3	防災行政無線費	413,217
4	災害廃棄物処理費	140,000
5	復興支援員事業	32,000
6	放射線等調査費	33,406
7	住宅管理費	29,000
8	放射線対策健康管理事業費	20,495
9	田村っ子の元気を支援する事業費	20,000
10	その他の復旧・復興事業	189,342
	計	13,735,460

平成25年度の一般会計予算は336億1千万円。そのうち、震災と原発事故からの復興に取り組む予算は36事業、137億3546万円を予定しています。条例では、現在も設定されている避難指示解除準備区域などの被災者に対し負担軽減を図るため、平成25年度も引き続き、国民健康保険税および介護保険料を全額免除する予定です。また、償却資産も同様に2分の1に減免する予定です。



平成24年1月19日に行われた除染実演会

## 平成25年度も引き続き 復旧・復興を最優先に進めます

平成25年

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
8日 市内12カ所で放射線講演会を開催(17日) ホールボディカウンター運用開始 第4代市観光キャンペーンクルーが決定	1日 細野環境大臣が市長と面会、田村広域一般廃棄物最終処分場を視察 星の村天文台望遠鏡がリニューアル 東京電力の下河辺会長、広瀬社長が市長と面会 東京電力福島原子力発電所事故調査委員会(国会事故調)黒川委員長と市長が面談 カブトムシ自然観察園が再オープン 平野復興大臣が市長と意見交換	4日 都路灯まつり 第19回鬼の里納涼夏まつり あぶくま洞夏まつり(16日) こどもの国ムシシラランドサマーフェスティバル・とさわお盆の夕べ・滝根つこ夏まつり 第63回灯笼流しと花火大会	1日 田村市斎場が供用開始 震災復興イベント「田村みんなの夢広場」米の全量全袋検査を開始 あぶくま洞秋まつり(30日)	13日 天皇・皇后両陛下が常業行政局にお立寄り 第31回田村富士ロードレース大会 福島県高等学校駅伝競走大会を市で初開催	14日 東京電力へ損害賠償請求 第4回田村市小学校童謡・唱歌音楽祭 長浜環境大臣が市長と意見交換	29日 避難指示解除準備区域における年末年始の特別宿泊(1月3日)	11日 東京電力の下河辺会長が市長と面会 田村市成人式 田村市立志式 市本庁舎建設工事安全祈願祭



田村市災害対策本部  
市長を本部長とし、災害の情報収集、実態把握から各種事務の指揮にあたる。震災直後は朝晩の1日2回開かれ、現在は月1回開催しています。

